

2025年9月3日

鹿児島大学病院 消化器外科で

肝臓手術の治療を受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に役立つ知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

肝実質切離時の易出血性を予測する因子の解明する研究

【研究の目的】

近年、肝臓手術でも低侵襲手術が一般化してきていますが、低侵襲手術が開腹手術より劣る点の一つに、大きな出血時の対応に難渋することが挙げられます。そのため、術前に肝臓実質切離時の易出血性が予測できれば、手術術式選択にとっても有用です。本研究では門脈圧亢進が易出血性をもたらすと考え、門脈圧亢進症時に惹起される脾臓肥大＋血小板低値に着眼し、それが肝実質切離時の易出血性予測に有用であるか検討することを目的とします。

【研究の方法】

当院で肝腫瘍と診断され、腹腔鏡下肝切除術を受けられた方を対象に、後ろ向きにカルテからの情報を抽出し、統計学的に解析を行います。主な評価項目とし

て、出血量、手術時間、術後合併症などの手術成績に加え、血小板値、脾臓体積、年齢、肝予備能などの手術前の検査について解析を行います。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2026 年 12 月 31 日

【対象となる患者さん】

2019 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに、鹿児島大学病院消化器外科で肝腫瘍と診断され、腹腔鏡下肝切除術を受けた 20 歳以上の患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査結果、各種負荷試験結果、画像検査結果、周術期成績（プリングル時間、手術時間、出血量、術後合併症など）、病理結果、術後合併症、予後。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

消化器・乳腺甲状腺外科学

役職：講師 氏名：川崎洋太

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 田川義晃

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際

も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器外科

役職：講師 氏名：川崎洋太

電話 099-275-5361 FAX 099-265-7426